

2

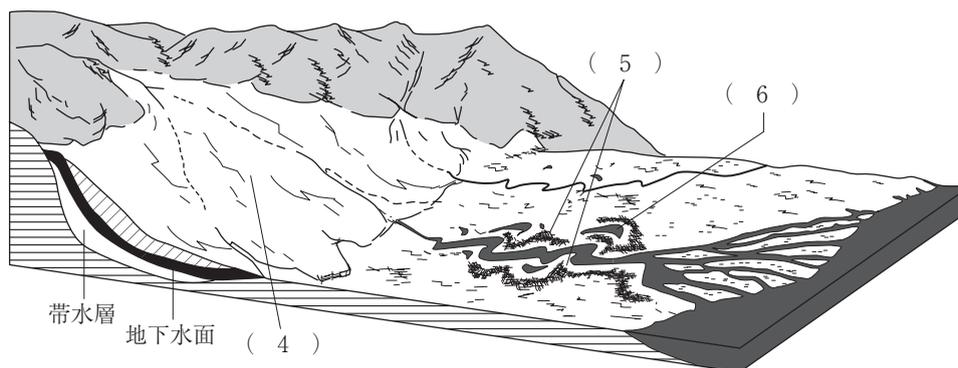
《平野の地形》

平野の地形に関する次の文章を読み、模式図を見て、下記の問に答えよ。但し、文章中の空欄の番号と、模式図中の空欄の番号は一致している。(25点)

平野は(1)平野と堆積平野に大別される。(1)平野は古い地質時代に形成された大規模なものが多いが、堆積平野は比較的新しい地質時代に形成された小規模なものが多い。日本の平野はすべて堆積平野で、更新世に形成された台地と、現在も河川などによって形成されつつある(a)沖積平野などに大別される。台地のうち、河川沿いで階段状になった地形を(2)と呼び、海岸沿いで階段状になった地形を(3)と呼んでいる。

沖積平野では、扇状地、氾濫原などの地形が見られる。そのうち、山麓に発達しやすい扇状地では、河川の流速が急に減少するため、砂礫が堆積しやすく、(4)部付近では河川は伏流し、地表ではしばしば水無川となる。沖積平野の大部分を占める氾濫原では、微高地の(5)や、(b)後背湿地が広がり、河川は蛇行を繰り返すために、かつての河道を示す(6)が見られることが多い。三角州は河口の砂泥が堆積して形成され、下の模式図のように、河川の流れは分流することが多い。

また、(c)扇状地や氾濫原ではしばしば天井川が形成されて洪水の危険が大きい。三角州では地下水の汲み上げなどによる地盤沈下や、台風時などに生じる、海面が上昇する現象である(7)などの災害を受けやすい。



問1 文章中の(1)～(7)に最も適する語句を答えよ。(14点)

問2 文章中の下線部(a)について、沖積平野の典型的な例として適当でないものを、次の①～⑥から2つ選び、番号を記せ。(4点)

- ① 大阪平野 ② 関東平野 ③ 庄内平野 ④ 濃尾平野 ⑤ 津軽平野
⑥ 十勝平野

問3 文章中の下線部(b)について、日本の農業における後背湿地の主な土地利用を答えよ。

(2点)

問4 文章中の下線部(c)について、天井川の成因とその特徴について、40字以内で説明せよ。

(5点)